

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域密着型サービスの意義やご入居者一人ひとりに寄り添ったケア実践を目指した運営理念を、管理者と職員は朝礼時に必ず唱和・確認し、日々のケア実践に繋げている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナが5類になったことで、状況に合わせて地域との繋がりを考え、ホームが主催するおまつりや、地域の会館を利用しての体育祭、外食などを通じ、認知症の方への理解や支援を共有できる機会を作り、地域の一員として地域での暮らしが続けられるよう努めている。	「認知症」の人という印象で、一線を引いてしまう事がまだまだあると思うので、こちらから地域の方と話が出来る機会等を作ることで分かって頂けたり、理解が深まれば地域の一員として地域で暮らす事に繋がると思います。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. <input checked="" type="radio"/> ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	行事や事故報告、ご家族参加の外出行事に対するアンケート結果報告と改善点等を報告し、ご意見を頂いている。また、地域の情報と要望やホームとして出来る事等の意見交換をしながら、サービス向上に活かしている。	ホームの考えや取り組みが、良く分かる会となっています。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <input checked="" type="radio"/> あまりできていない D. ほとんどできていない	不明点や曖昧なことは、札幌市の担当者に確認をしたり、ご指導を頂いているが、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝える事は出来ていない。	ご入居者様のより良い暮らしやサービスが正しく行われるように、継続的に市担当者とは連絡を取り、協力関係を築いて頂きたいと思います。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. <input checked="" type="radio"/> 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束防止については、奇数月に必ず研修を行っている。また、チェックシートを用いて振り返りを行い、廃止委員会で検討し共有しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		A. <input checked="" type="radio"/> 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	仕組み作りができており、チェックシートを使っの振り返りは、防止に繋がるものであり、グレーゾーンを明確にしながら、防止に取り組んでいる。

6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	虐待防止については、奇数月に必ず研修を行い、なぜ起こるのかのプロセスの理解に努めている。また、チェックシートを用いて振り返りを行い、廃止委員会で検討し共有しており、虐待防止に努めている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	仕組み作りができており、チェックシートを使っての振り返りは、防止に繋がるものであり、グレーゾーンを明確にしながら、防止に取り組んでいる。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	社内研修時に研修の機会を設けている。制度を使っているご入居者様は、後見人と対応をしている。必要性がある時には、関係者と話し合い、支援出来るようにしたい。		
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	契約時は2時間程度かけて説明し、都度、疑問点は伺い答えている。解約、改定時も同様に説明、疑問点を伺い、その時に曖昧なことは確認し、後日、ご納得頂くように説明をしている。		
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	来訪時や電話等でご意見・ご要望を管理者・職員は伺っている。また、外出時アンケートやご家族アンケートを行い、運営推進会議でお伝えし、改善点を報告するなど運営に反映させている。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ご入居様やご家族様が意見、要望を更に気兼ねなく言って頂ける関係性や環境作りを努めている。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員アンケートや定期的な面談の機会を設け意見や提案を聞き、反映出来るように努めている。		
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ステップアップ制度やそれに伴う給与水準も決められている。また各自が技術を磨き向上心を持って働けるよう、資格支援制度や講習会の実施など条件整備に努めている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	各自がステップアップ出来るように、制度の発信や介護における幅広い項目分けされた研修や、資格取得のための講習会、また、支援制度があり、向上心を持って働けるように環境整備を行っている。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ステップアップ制度に基づき、参加すべき研修やその他多岐にわたる研修が準備されており、参加においてが外部の研修を含め、シフト調整し、	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ステップアップ制度があり、それにより個人の力量を把握している。研修は多岐にわたり準備されており、提供されている。

				働きながらトレーニングしていくことを進めている。			
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事例報告会の実施、Zoomによる研修会参加などは行われており、サービスの質の向上に努めている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご入居者様から教えて頂くことも多々あり、一方的ではなく生活歴を大切に、出来ること・出来そうなことに着目し、共に暮らす者として信頼関係が築けるよう努めている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	知人からの手紙や年賀の発送、電話の取次ぎや、ご家族との外出・外泊、通院時の支援に努めている。	職員は日常生活の中から得られた情報等をご家族にお伝えし、外出・外泊・通院等がしやすい環境作りもされているとのことなので、良いと思います。		
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時には、今までの暮らしや生活環境等は伺っているが、日々の暮らしの中で、会話などからご本人の思いや希望の把握に努めている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現状把握の為に、ご入居者様の担当者はもちろんの事、職員やご家族様等からも意見や思いを確認し、介護計画作成に反映させるよう努めている。	ご家族様がご希望・ご意見を遠慮なく言って頂ける関係づくりに努め、ご本人がより良く暮らすためのケアを考え、介護計画に反映出来る事に、更に努めてほしいと思います。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人様、ご家族様、必要な関係者様から伺った課題やご意見、ご希望について話し合い、現状にあった介護計画書作成に努めている。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の様子やケアの実践・結果、気づき、工夫を個人記録に記入し、日報に記入する事で情報共有し実践している。ユニット会議で話し合い介護計画の見直しにも活かしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日報は、電子化により打ち込みにて、いつでも確認出来るようになっており、情報共有している。会議等で意見を出し合い介護計画作成に活かしている。

19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人やご家族の状況に応じ、通院介助等を行っているが、サービスの多機能化に取り組んでいると言えない。	その時々に合わせて、ご家族とも相談・協力しながら柔軟な支援に結び付けて頂ければと思います。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ④ほとんどできていない	コロナが5類に移るまでは、感染しないように注意を払い、地域活動は行っていなかったが、それ以前は、地域のふれあいサロンなどに参加していた。状況を見ながら地域活動にも参加出来るように考えたい。	地域の「ふれあいサロン」の方が、愛の家の参加を楽しみにされている。暮らしの楽しみや相互間で良い影響になると思うので、是非、再開を考えてほしい。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. ①十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	24 時間体制で適切な医療を受けて頂けるように、ご家族と話し合い納得して頂き、提携医と連携を図りながら支援をしている。また、違う医療機関であっても同様に対応し、支援している。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ②ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	環境の変化による、認知症の進行を出来るだけ防ぐために、出来るだけ早期に退院が出来るように、病院関係者と定期的に状況確認やホームでの様子を伝えるよう努めている。ご家族とも知りえた情報交換・相談を行っている。	A. ①十分にできている B. ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	入院したことによるリスクを理解し、早期退院に向けて動いている。	
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ②ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時に事業所で出来る事などの説明やご本人・ご家族の思いを確認はしているが、ご入居者様の状況の変化に伴い、往診医と連携を取りながら、段階的に確認、共有しチーム支援に取り組んでいる。	A. 十分にできている B. ②ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	その方にとってより良い終末期を迎えて頂けるように、チームで支援が出来るように、医療関係と連携をとり支援に努めている。	
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ②ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に研修を行い、繰り返し初期対応や応急手当の方法を確認している。救命救急講習会・応急救護講習等の受講を予定している。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ②ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	火災避難訓練は日中帯・夜勤帯と年2回行っている。地震・水害はハザードマップで災害予測程度を知り、災害発生時の行動、備蓄品等の確認も	地震・水害共に比較的安全な地域ではあるが、地域との連携を考え、町内会の防火防災研修会が行われる時には参加し、協力体制が築けるよう努める。	A. 十分にできている B. ②ほぼできている C. ③あまりできていない D. ほとんどできていない	地域との共生による関係性を築くことが大切であると捉えられている。

				定期的に行っている。地域との協力体制はコロナ禍もあり出来ておらず、考えていきたい。			
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	お一人おひとりの生活歴や人格を尊重し、尊敬の念を忘れることなく、その方が心地良いと感じて頂ける声掛けや出来る事に着目し、職員間で情報共有しながら対応に努めている。		<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	認知症の方にとっての生活歴や大切にされていた思いが重要であることを理解し、お一人おひとりと向き合いながら対応に努めている。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	日常生活の中で、ご希望やご意向を伺う機会を作り、出来る限り思いを汲み取り、その方の暮らしのペースを大切に過ごして頂けるように努めている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	お一人おひとりの咀嚼状態や摂食量に合わせて、盛り付け等工夫している。四季折々の行事に合わせてメニューを考え、食事を楽しんで頂けるようにしている。出来る事を見極めながら、テーブル拭きやおしぼりたみ等可能な限り参加して頂いている。		<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	食事を楽しむことの大切さと、出来る事を見極めながら、役割や張り合いにも結び付けて支援されている。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	摂食状況や水分量は電子記録により、直ぐに確認出来るようになっており、水分量は確認しながら提供している。食事形態はその方に合わせて変更しながら、栄養が確保できるように支援している。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	歯科往診の指導を受け、その方にあった方法で、毎食後口腔ケアを行っている。職員により仕上げ磨きも行っている。		<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	歯科医と連携を取りながら、ご本人の力に応じたケア(職員による仕上げ)により、口腔の衛生が保たれている。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	お一人おひとりの排泄間隔を確認し、誘導のタイミングや介助方法を検討している。食事の前には声掛け・誘導を行い、排泄のリズムを作りながら失敗やオムツ使用を減らすよ		<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	電子記録を使い、確認しながら決まった時間帯や、ご利用者様のその日の状態に合わせて適宜支援を行っている。便秘予防についても個別に取り組みを行っている。

				う努めている。便秘の予防は、個々に応じ医師や薬剤師に相談しながら取り組んでいる。			
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日程は組んでいるが、体調やご希望を考慮し入浴して頂いている。入浴時はご本人のペースに合わせ、楽しんで頂けるよう努めている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	お一人おひとりの体力や体調、生活リズムに合わせて、休息して頂いている。安眠が出来るように、室温・湿度、寝具等に配慮している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬情報で、用法・用量、目的・副作用について、全員が確認すると共に、職員各々が確認している。症状に変化が見られる時は、医師、薬剤師に的確に情報を伝え、相談、指示を頂き対応している。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬情報に記載されている情報を確認出来るように整備され、ご入居者様の体調の変化時に薬の影響かもしれないと考える事も忘れずに対応している。	
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常的なレクリエーション以外にも、その方の生活歴や今ある能力にあったレクリエーションも取り入れている。また出来る事、出来そうな事で役割を持っていただき、張り合いや気分転換等の支援にも努めている。	役割を持つことは、とても大切なことだと歳を重ねることで実感できる。自信を持ち、存在価値を感じて頂ける支援は続けてほしい。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナが昨年5月に5類にはなったが、状況に合わせての外出になっていた。ホーム敷地内で庭や畑や、近所の無人野菜販売所まで行くこともあった。外出行事にご家族も参加して頂けるように声を掛けている。	ご家族参加の行事や定期的に非日常を感じて頂ける行事などを考え実行しているところなので、このまま、良い方向で支援していくことを望みます。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時にご家族様に説明し、意向確認はしている。入居の時点で所持していない方が多く、所持する時には、紛失時は責任を負いかねる事をお伝えし、少額であれば可能であることを説明している。現在、所持している方はいない。			

38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ご家族に手紙を出すことや、ご家族様等からの電話も、気兼ねなくお話が出来るように配慮している。ご家族様や大切な方との時間が持てるように支援している。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ご入居者の動線を考え、家具等を配置し安全に考慮している。気の合う方とのテーブル席や、季節に応じた掲示物で四季を感じて頂けるような空間作りを心掛け、採光や温度・湿度にも配慮し、居心地良く過ごして頂けるようにしている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ご入居様が安全に安心して生活を送ることが出来るよう配慮されている。季節を感じながら居心地よく過ごして頂けるよう、採光や温度、掲示物にも工夫が見られる。
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居時に、フェイスシートやアセスメントからこれまでの暮らしや思いに触れ、日常の会話の中から願いや意向を引き出し、支援している。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	日々の関りやアセスメント、フェイスシートを活用し、情報を元に支援に努めている。知りえた新しい情報は、職員間で共有し更なる支援に活かせるようにしている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎朝のバイタル測定、日々の様子や変化等を把握し、状況に合わせて医師と連携しながら、ケアや支援に努めている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	その日の状況を職員間で共有し、支援に繋げている。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	全てをこれまでの暮らしの習慣にあわせる事は難しい面があるが、出来る限りその方のペースや大切にされていたことに寄り添うケアに努めている。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居時には、使い慣れた物や思い出の品を持って来て頂けるようお願いしている。入居後も必要に応じてお願いしている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	その方のその時の状況に合わせる考慮が必要であり、落ち着ける環境作りを努めている。

45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常会話の中で出ていたご希望を外出行事に取り入れたり、ご家族にお伝えしている。コロナ禍で地域の催事に出掛ける事は出来ていないが、ホームで地域に向けたおまつりを開催し、ご入居者様にも楽しんで頂いた。	コロナ禍で、どこの施設でも出かける事を控えていたと思います。5類になったとはいえ、心配はあると思いますが、意向や希望に応じられるように努めてほしい。		
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その方の好きな事、得意な事、出来る事、出来そうな事、趣味などを把握して、職員間で共有しケアに取り入れている。出来る方法を考え、環境作りに努めている。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員が橋渡しのなる事で、更に会話が弾み笑顔や笑い声が多くなっている。得意なことを、他入居者様に教えたり、教えられたりしながら、ご入居者様同士で過ごされる姿も見られている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	お一人おひとりの日々の情報共有の重要性や、日々の暮らしの大切さを理解し、支援している。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナが5類に移行しても、状況に合わせての行動になっていた為、積極的な動きにはなっていなかった。地域のお祭りのお神輿にホームの前の道路に並んでお賽銭をあげたり、ホーム主催のおまつりに来て頂いた地域の方と交流する事はできていた。	コロナ前は、良く散歩されていたのを見ていました。幼稚園児の散歩コースでもあり、公園にも立ち寄っている様なので、日常の中に交流できそうな場面があると思うので、取り入れると良いと思います。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の人々との交流は、まだまだ行えているとは言えないが、職員との信頼関係を築くことで、暮らしが作られ、医療との連携を深める事で安心できる日々を送ることができると考えている。お一人おひとりがより良い日々を送れる事が出来るよう努めている。	地域交流は、これから出来る事を見つけていってほしい。少しずつ、外に向けての活動も行っているようなので継続して欲しい。それにより、「認知症」の人と違うのではなく、地域の中でより良い日々を送ることに繋がると思います。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現状で満足することなく、より良いホーム作りを目指して下さい。

(参考様式4)

事業所名 愛の家グループホーム札幌川沿

目標達成計画

作成日: 令和 6 年 3 月 20 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	20	コロナが5類に移るまでは、感染しないように注意を払い、地域活動は行っていなかった。コロナ禍以前に参加していた地域活動への参加の再開を考えていたが、感染症(コロナ・インフルエンザ)の流行もあり、なかなか踏み出せていない。	ご入居者様が安全で豊かな暮らしを楽しみながら、続けられるように地域活動にも参加出来るようにする。また、ホーム主催におまつりも開催し、地域の方に参加して頂く。	コロナ禍以前に参加していた「ふれあいサロン」の方が愛の家の参加を楽しみにされていると伺い、認知症の理解等、相互間で良い影響になると思われるため、参加出来るよう考える。ホーム主催のおまつりは、レク委員会により準備を進めていく。	6ヶ月
2	25	火災や地震・水害の災害についての訓練やハザードマップによる確認は定期的に行っており、備蓄品も用意されているが、地域との連携体制が築けていない。	地域との連携体制を築き、緊急時や災害時に互いに協力出来るようになる。	町内会の防火防災研修会等が行われる際には参加し、ホームへの理解を深めて頂く。また、必要とあれば情報提供などができるようにする。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。